

株式会社ティービーエム

2024年度 環境経営レポート

(対象期間 2024 年1月1日～ 2024 年12月31日)



更新日: 2025年2月6日

目 次

項 目	ページ
環境経営方針	3
組織の概要	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7～9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	11
これまでの環境活動の紹介	11



当 社 製 品

環境経営方針

＜環境経営理念＞

株式会社ティービーエムは、地球環境への取り組みを企業経営の最重要課題の一つとして位置づけ、積極的かつ継続的な環境改善活動と環境にやさしい「ものづくり」を推進し、持続可能な社会の実現に貢献します。

＜行動指針＞

1. 環境マネジメントシステムを構築し、環境目標を定め運用すると共に、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。
2. 環境に関する法規則及びその他の要求事項を遵守することを約束します。
3. 環境負荷低減の為に次の事項に取り組んでいきます。
 - ・ カーボンニュートラル社会実現の為に、当社が製造するエネルギー、半導体、航空機、工業プラント分野で必要とされる高精度かつ高効率の次世代部品を積極的に製造します。
 - ・ 省エネルギー活動及び再生可能エネルギーの活用を推進し、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - ・ 適正な製造設備管理及び節水活動により、水使用量の削減に努めます。
 - ・ 環境汚染予防の為に、溶剤、化学物資を適正に管理します。
4. 社員一人ひとりが環境問題に関する認識を高め、気候変動対応や資源循環推進、生物多様性保全を始めとした地球環境保全に貢献します。
5. この環境方針は要求に応じて社外に公開します。

制定日：2025年1月6日

代表取締役社長 唐澤 広晃

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社ティービーエム
代表取締役社長 唐澤 広晃
- (2) 所在地
宮田本社 〒399-4301 長野県上伊那郡宮田村6750番地
伊那工場 〒399-4501 長野県伊那市西箕輪2640番地
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 取締役部長 細井 浩一 TEL:0265-71-5888
事務局 総務部保全課 塩澤 和幸 TEL:0265-71-5888
- (4) 事業内容
発電用タービンブレード及び航空機部品の製造、機械部品加工
- (5) 事業の規模
売上高 180,706 万円
- | | | |
|----------------------|----------------------|---------------------|
| | 宮田本社 | 伊那工場 |
| 従業員 名 | 73名 | 68名 |
| 延べ床面積 m ² | 11500 m ² | 9631 m ² |
- (6) 事業年度 1 月 1 日 ~ 12 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 株式会社ティービーエム
対象事業所: 宮田本社
伊那工場
対象外: 無し
活動: 発電用タービンブレード及び航空機部品の製造、機械部品加工

□会社概要

当社は1979年の創立以来、総合部品加工メーカーとして各種タービンブレード、大型機械部品等の生産に携わってきました。タービンブレードにおいては発電用の蒸気タービン、ガスタービン及び船舶用過給機などに使われるタービンブレードを生産。特に高温、高回転での極限環境で活躍する発電機用のタービンブレードは材質が難削材で形状も複雑かつ三次元の曲面加工が要求され、そしてサイズも大きく、蓄積された高い技術力と優れた生産設備が必要です。

お客様からの様々な要求にもお応えできる環境を整え、そして決して諦めることなく日々努力を重ねてきました。その結果、長きにわたり培った生産技術力、機械加工力、そして品質力が醸成され、大手企業より信頼と評価を頂いております。そして、タービンブレード生産加工で培った難削材加工の高い技術力を生かし、航空機エンジン部品加工を1988年に開始。お客様からの要求に対し、常に徹底した品質管理体制で一歩先の進んだモノ作りでお応えしています。

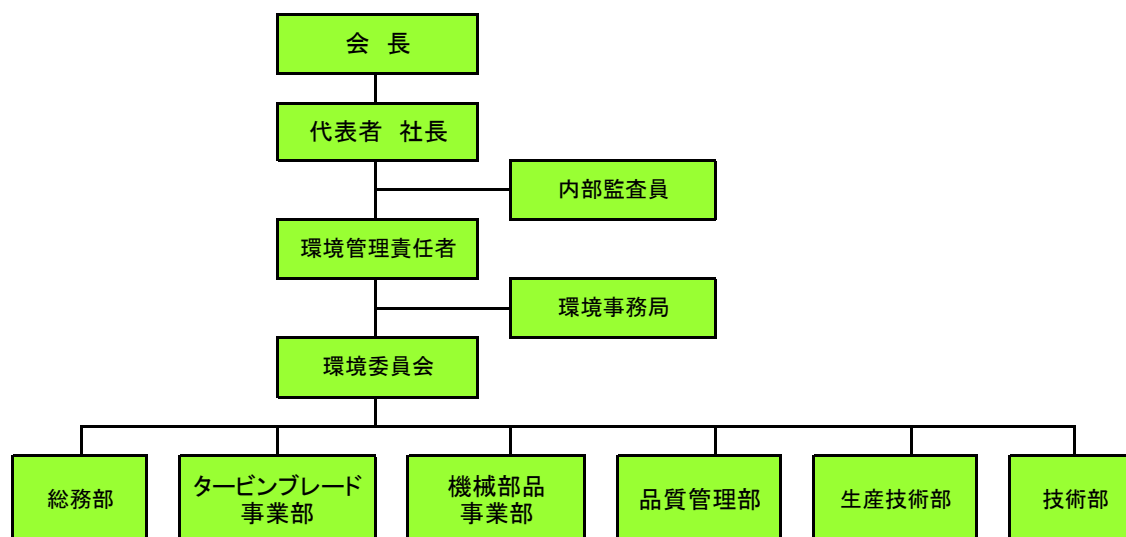
更には大型プラントパルプ、半導体製造に必要な機器部品等、幅広い種類の大型機械部品加工を得意とし、部品加工のトップかつ最良のメーカーを目標に事業を行っています。

これまでの経験を糧にこれからも基本を怠ることなく、新たな分野への部品加工の挑戦が始まっています。



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2021年4月1日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
環境委員会	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
内部監査チーム	・環境に関する内部監査の計画 ・環境に関する内部監査の実施・報告
全従業員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	2,293,519	2,639,107	2,299,831
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	3,900	5,400	5,240
産業廃棄物排出量	kg	54,382	73,574	55,588
水使用量	m ³	80,805	53,010	15,805

※二酸化炭素排出係数 0.433 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数

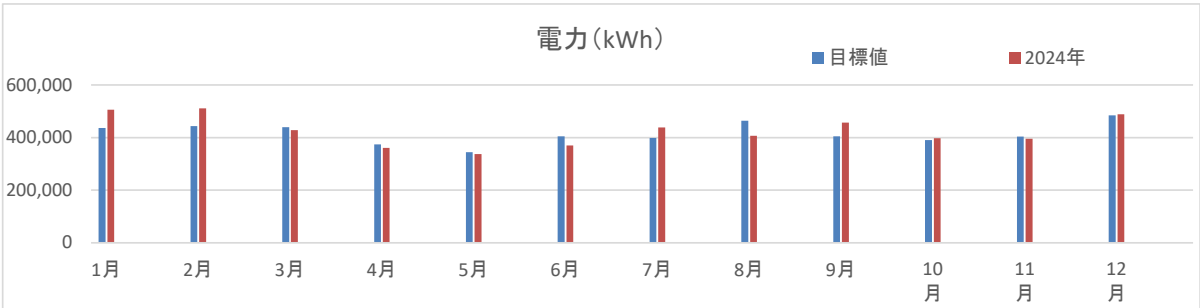
□環境経営目標及びその実績

年 度 項 目		基準値	2024年			2025年	2026年
		(2022年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	2,204,472	2,160,383	2,207,610	×	2,138,338	2,116,293
原単位	kg-CO ₂ /百万円	1,609.10	1,576.92	1,221.70	○	1,560.83	1,544.74
			基準年度比98%	77%		97%	96%
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	25,774	25,774	21,563	○	25,774	25,774
原単位	kg-CO ₂ /百万円	18.81	18.81	11.93	○	18.81	18.81
			維持	63%		維持	維持
ガソリンによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	33,072	32,410	37,869	×	32,079	31,749
原単位	kg-CO ₂ /百万円	24.10	23.62	20.95	○	23.38	23.14
			基準年度比98%	88.70%		97%	96%
軽油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	24,796	24,300	23,238	○	24,052	23,804
原単位	kg-CO ₂ /百万円	18.10	17.74	12.86	○	17.56	17.03
			基準年度比98%	72%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	2,288,114	2,242,867	2,290,280		2,220,244	2,197,620
原単位	kg-CO ₂ /百万円	1,670.16	1,637.08	1,267.45		1,620.57	1,603.71
一般廃棄物の削減	kg	3,900	3,900	5,240	×	3,900	3,900
原単位	kg-CO ₂ /百万円	2.85	2.85	2.90	×	2.85	2.85
			維持	102%		維持	維持
廃液の削減	kg	46,700	46,700	40,040	○	46,700	46,700
原単位	kg-CO ₂ /百万円	34.09	34.09	22.16	○	34.09	34.09
			維持	65%		維持	維持
井戸水の削減	m ³	80,708	79,094	15,687	○	78,287	77,480
原単位	m ³ /百万円	58.91	57.73	8.68	○	57.14	56.55
			基準年度比98%	15%		97%	96%
化学物質適正管理	kg	145.1	145.1	145.1	○	145.1	145.1
			維持	100%		維持	維持
環境に配慮した生産活動	不良率低減、稼働率向上、廃棄率削減						

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

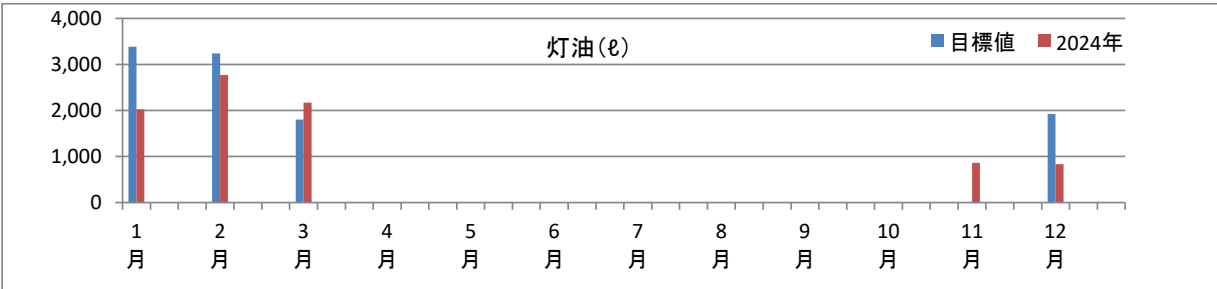
数値目標:○達成 ×未達成
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	【評価】 伊那、宮田ともに蛍光灯のLED化を実施。工場内のほとんどの照明がLEDとなる。数値目標は未達であったが、原単位目標を達成できた。 【次年度の取組】 今年度の目標達成手段は継続して実施。各部署の生産性向上の取組を実施する。
原単位目標	○	
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	◎	
・生産工程の待機時間短縮	○	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	△	



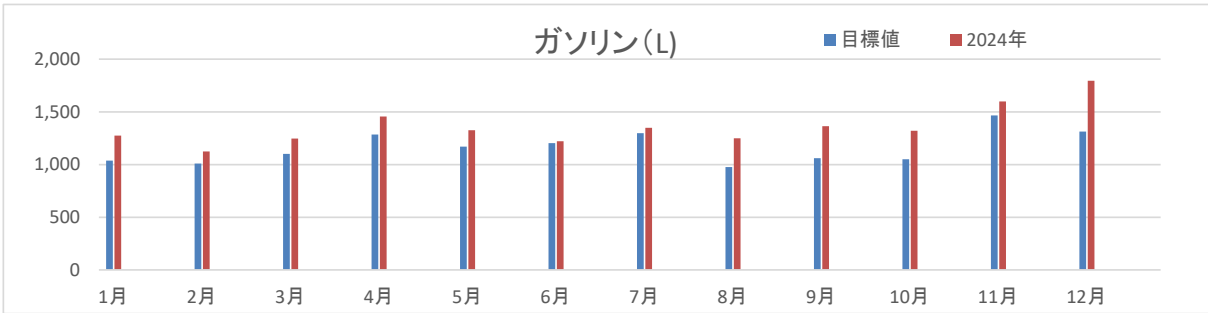
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
目標値	436,026	443,824	439,605	374,436	344,032	405,016	398,837	464,137	404,348	390,511	403,952	484,611
2024年	505,976	511,464	428,578	360,670	336,845	369,948	438,461	407,294	456,917	397,870	395,669	488,714

灯油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	維持	【評価】 空調機の更新により、使用量は減少。 【次年度の取組】今年度の維持活動は継続して実施する。
・暖房温度の適正化	○	

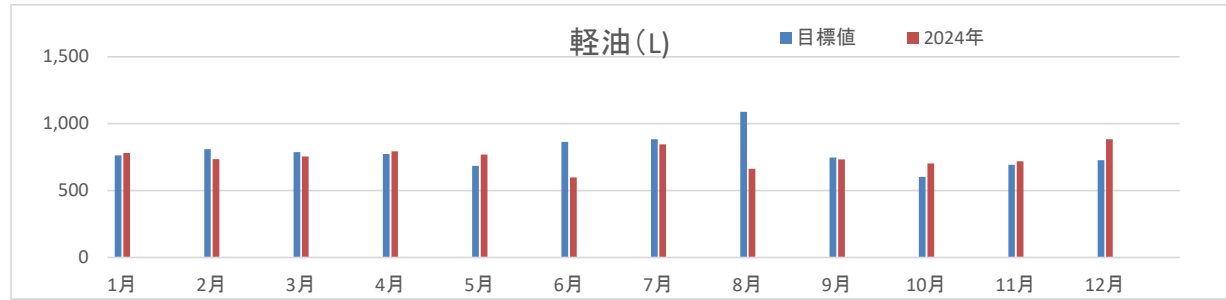


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
目標値	3,385	3,239	1,804	0	0	0	0	0	0	0	0	1,923
2024年	2,023	2,772	2,171	0	0	0	0	0	0	0	861	833

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	【評価】 売上増加に伴い、営業機会も増加。数値目標は未達だが、原単位目標は達成。 【次年度の取組】 今年度の活動は継続して実施する。
原単位目標	○	
不用なアイドリングを避ける ・効率的なルートで配送	○	
	○	

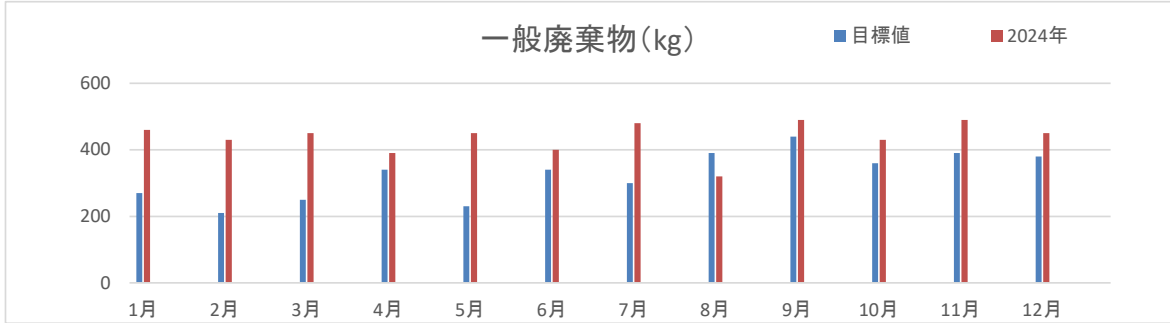


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
目標値	1,038	1,010	1,101	1,285	1,169	1,203	1,299	976	1,061	1,050	1,465	1,313
2024年	1,275	1,123	1,247	1,456	1,325	1,220	1,349	1,250	1,364	1,321	1,598	1,795



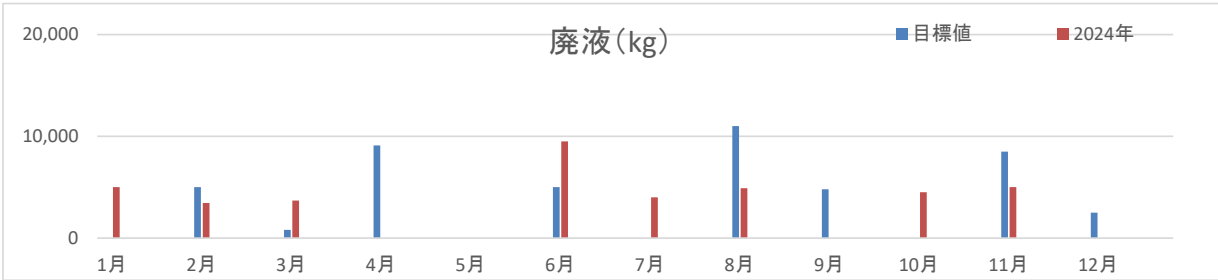
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
目標値	762	809	787	773	684	863	883	1,089	747	603	692	727
2024年	782	736	755	793	770	599	846	662	733	702	718	883

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	維持	【評価】 新規事業により、大幅な増加が見られたが、受注量に比例した推移となっている。原単位としては微増となった。 【次年度の取組】 経過を観察していく
・分別の徹底	◎	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	○	



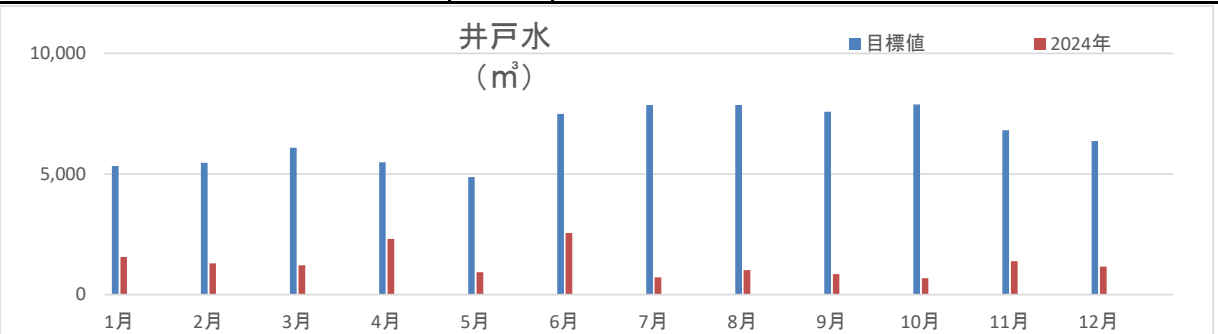
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
目標値	270	210	250	340	230	340	300	390	440	360	390	380
2024年	460	430	450	390	450	400	480	320	490	430	490	450

廃液の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	維持	【評価】
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	切削油の濃度管理、浮遊油回収等により、交換の頻度減少。
・作業の効率化	○	【次年度の取組】
・リサイクル業者の開拓	×	今年度の目標達成手段は継続して実施する。



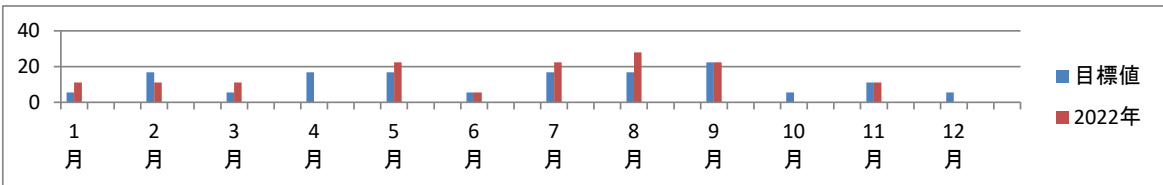
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
目標値	0	5,000	800	9,100	0	5,000	0	11,000	4,800	0	8,500	2,500
2024年	5,000	3,440	3,700	0	0	9,500	4,000	4,900	0	4,500	5,000	0

井戸水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	【評価】
原単位目標	○	水冷ヒートポンプ全数廃却。昨年より大幅な減少。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・節水弁取り付け	×	



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
目標値	5,333	5,460	6,092	5,483	4,875	7,497	7,858	7,860	7,582	7,878	6,813	6,364
2024年	1,565	1,294	1,219	2,308	931	2,559	718	1,013	855	686	1,380	1,159

化学物質適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	維持	【評価】
・有害性物質の表示の徹底	○	目標が達成された
・容器の蓋の徹底	○	【次年度の取組】
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	切削油の濃度管理の徹底と使用量の管理
・代替物質の検討	×	



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
目標値	6	17	6	17	17	6	17	17	22	6	11	6
2022年	11	11	11	0	22	6	22	28	22	0	11	0

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機
水質汚濁法	油漏洩緊急時
浄化槽法	浄化槽
下水道法	除害施設
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫
顧客要求事項	品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価を2024年12月11日に行った結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要望等
 外部からの苦情は特にありませんでした。

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2024年9月2日(月) 9月3日(火)	■実施場所： 宮田工場、伊那工場
■参加者： 宮田工場 43名 伊那工場 57名	
■実施内容： ☒ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練 構内放送による通報訓練、消火班による消火栓放水訓練、消化器による消火訓練	
■評価： 計画通りに実施でき、ほぼ当初の目的を達成できた。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子	
  	

緊急事態の想定： 油流出事故の発生	
■実施日 2024年12月10日(火)	■実施場所： 伊那工場 廃油置き場
■参加者： 7名	■実施内容： ・流出事故対応、通報訓練
■評価： 計画通りに実施でき、ほぼ当初の目的を達成できた。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子	
 	

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2025年2月1日

【前回の指示への取組結果】

環境経営計画に基づき、2024年は社内照明のLED化、古い空調設備を省エネタイプへ更新を実施しました。引き続き日常の業務に於いても生産性向上や無駄の排除、不良削減活動の更なる推進をして参ります

＜情 報＞		＜見直し・指示＞
◇自社を取り巻く環境問題の変化 (社会的情勢、利害関係者の要求等) 昨今の電力料金大幅値上げや、資材の高騰により、経営に大きな影響があります。そのような中でも今出来ることを実施していきます。		◇環境方針経営 環境経営方針の見直し(2025年1月6日) 環境経営理念、行動指針に従い活動をする。
◇環境経営目標・計画の達成状況 今回の取組についてほぼ目標を達成しています。		◇環境経営目標・環境経営計画 環境経営目標及び環境経営計画は見直しの必要はありません。
◇その他 ・利害関係者からの苦情・要請等特にありません。 ・環境上の問題点等特にありません。		◇実施体制他 実施体制について見直しの必要はありません。

- 環境経営方針
- 環境経営目標・計画
- 実施体制他
- ☐ 変更なし
- ☒ 変更なし
- ☒ 変更なし
- ☒ 変更あり
- ☐ 変更あり
- ☐ 変更あり

これまでの環境活動の紹介

環境配慮型工場（伊那工場）



伊那谷の自然に調和した未来型の「公園」工場



太陽光発電システムを設置(発電容量は最大151kw/h)

宮田工場



宮田工場の空調機を最新型に更新



宮田工場大屋根の断熱塗装実施